

## 第9回 JCHO宇和島病院地域協議会 議事概要

【日 時】令和元年8月6日（火）18:30～19:30

【場 所】JCHO宇和島病院 3階講堂西

- 【議 題】
1. 第1期（平成26年度～30年度）中期目標、中期計画について
  2. 研修医等の受入状況について
  3. 新たな「中期目標、中期計画」
  4. 発表『始業前時間勤務の短縮に向けて』
  5. 発表『申し送りの短縮をめざし、ケアの充実を図る』
  6. 意見交換
  7. その他

【出席者】 荃 田 仁 志（くきた内科クリニック院長）

富 田 直 明（宇和島保健所長）

増 田 潤（宇和島医師会長）

毛 利 正 光（宇和島市保険健康課長）

（以上：五十音順）

渡 部 昌 平（JCHO宇和島病院院長）

矢 野 達 哉（JCHO宇和島病院附属老健施設長・副院長）

佐々木 修（JCHO宇和島病院副院長）

富 永 康 浩（JCHO宇和島病院副院長）

松 岡 君 代（JCHO宇和島病院看護部長）

斧 信 之（JCHO宇和島病院事務長）

田 村 保 稀（JCHO宇和島病院看護師（発表者））

吉 本 香 奈（JCHO宇和島病院看護師（発表者））

### 【概 要】

1. 第1期（平成26年度～30年度）中期目標、中期計画について

平成26年度からの5年間の数値目標、経営状況（収支、病院の1日平均患者数・患者1人1日当たり診療収入、附属老健の1日平均入所者数・通所者数）、救急車による受入患者数、紹介率・逆紹介率について結果報告を行った。

### 意見

特になし

2. 研修医等の受入状況について

研修医等の受入について、平成 30 年度受入実績、平成 31 年度受入予定の説明を行った。

#### 意見

(外部委員) 病院総合医育成プログラムの研修期間は決まっていますか。

(内部委員) 2年のプログラムで1年間は地方の医師不足が深刻な病院に派遣して、その後は自分が希望するところで研修を受けるが、今はフレキシブルな運用です。

(外部委員) 若い先生ですけど来ていただいて、地元でやりたい人がいれば。

(内部委員) 期待していますが中々いません。地域枠で入学した学生が後期研修に入っています。地域枠の医師が当院にも来ていただける様なシステムができれば良いと思っています。指定病院になっていないため、働き掛けて行きたい。

#### 3. 新たな「中期目標、中期計画」

第2期中期目標・中期計画（診療事業、介護事業、病院等の利用者の視点に立った医療及び介護の提供、教育研修事業、収支計画等）について説明を行った。

#### 意見

特になし

#### 4. 発表『始業前時間勤務の短縮に向けて』

始業前時間勤務の短縮に向けての取り組みについて発表した。

#### 意見

(外部委員) 申し送り用紙は電子カルテではなく紙を使用しているのですか。

記録は勤務時間中には中々出来ないですか。

(内部委員) 記録は全て電子カルテですが、申し送りをするに当っては紙に纏めて、紙を見ながら申し送りをしています。

勤務時間中の記録は出来たり、出来なかったりです。

(外部委員) 立派に記録を書こうと思うと幾らでも時間が掛かる。でも立派な仕事もしたいし、けど余り残業はしたくないしと、そのジレンマが一番難しいところかなと思う。

(内部委員) 5分から10分の短縮は、スタッフ全体の総数から言うと膨大な数になる。それが毎日、毎日積み重ねになると非常に大きなものである。たかが5分か10分ではなく、かなりなところの短縮になった様なことは評

価できる。

## 5. 発表『申し送りの短縮をめざし、ケアの充実を図る』

申し送りの短縮をめざし、ケアの充実を図る取り組みについて発表した。

## 意見

特になし

## 6. 意見交換

(外部委員) 市民公

開講座を積極的に行うのは非常に良いことで、やっていただきたいと思います。ただ、1点お願いがあります。血糖測定など採血等をされる場合には、臨時の診療所になります。事前にご相談いただき、届出してください。

(内部委員) 貴重なご指摘ありがとうございます。

(外部委員) 市民公開講座のパンフレットをいただき、当市におきましては糖尿病の重症化予防、高血圧の予防（減塩）に積極的に取り組んで行こうというところですので、是非参加させていただき、情報交換等させていただければ幸いです。

(外部委員) 中期計画で在宅支援がありました。JCHO宇和島病院としても在宅の方に少し力を入れていただき、老健退所後の在宅復帰支援の方法は何か考えられていますか。

(内部委員) 医師不足もあり、まだ大々的には外部にアナウンスはしていませんが、訪問診療のシステムを確立しつつあり、訪問看護ステーション利用者を対象にして実施する方向で動いています。

(内部委員) どの様な手続きが必要かは確認しています。看護師は訪問看護ステーションの看護師が行くものだと思っていたら、別のスタッフが行かないといけないため、看護師の人选を決める必要があります。

訪問診療を始める話は医師会にも話を通さないといけない。院長から宇和島医師会に話をする段取りです。具体的には少しずつ進めています。対象患者を訪問看護ステーションで選定中です。

(外部委員) 医師が訪問診療に行くと、先生方に負担が掛かり大変ですね。働き方改革で医師の働き方が問題になっていますが、特定行為研修を修了した看護師が増え、タスク・シフティングすれば先生方も助かると思っています。現在受講中の2名ほどの程度まで研修が進んでいますか。

(内部委員) 基礎項目は全部終わり、実践の実技と最終的には試験があります。実践するところで該当患者がない状況です。

(外部委員) どの程度のことが出来ますか。医師の仕事が減るほどには中々ならないですか。

(内部委員) 指定患者を決めて範囲は狭いですが、JCHOでは5領域をしていて、当院では感染管理の中で栄養面・創傷処置などで、処置できる場所はカテーテル抜去などです。

(外部委員) 医師が楽になるところまでは難しいですね。

(内部委員) 県下で病院として取り組んでいるところは、当院しかないぐらいです。看護協会に学びに行ったりはあります。最初に取り組むと手探りで大変なことがあります。

(外部委員) 良い医療を提供したいという思いと、働き方改革が若干反対方向の面もありますが、今日の看護師の方が発表したように、どっちも大事でバランスを取らないといけないと強く思っていました。私は開業した時に時間外は絶対しないと、あまり良いことではないですが患者さんには最初から時間外はしませんが、時間外の対応は病院の救急等に対応してもらい。本当はしたいけど体が持たないので、その分だけ働き方改革かなと思います。

最近厚生労働省が24時間対応したら点数を付けるとか働き方改革と逆行しているような、開業医は24時間働けと言うような面がある。それが矛盾している。病院は24時間当直医の先生がいて非常に助かっています。後は患者さんに今の情報をどれだけ持たすか、今は時間外に受診しても薬剤情報ぐらいしかない。時間外に受診した患者の半分以上は薬剤情報も持って来ていない。時間外に病院を受診した際に患者情報がある程度的確に伝わるようにやっていく必要がある。市立宇和島病院に「きさいやネット」ができて、昨日市立病院を受診したと患者が言えば、処方内容・処置等の受診情報を確認することができ便利である。JCHOは同様のシステムを導入する予定はありますか。

(内部委員) 今のところは考えていませんが、今日、愛媛大学の地域支援センターの方々が見えられ、「きさいやネット」の様なシステムを構築するため、コンピュータから導入するよう立ち上げているという話がありました。

(外部委員) (宇和島市に対して質問) マイナンバーカードに薬情が入り、薬情を確認できるという話を聞きましたが、どうなんですか。

(外部委員) 入っている情報では、薬情ではなく、保険証の情報がマイナンバーカードに集約されます。

(外部委員) 保険証代わりになることは確かです。

(内部委員) ネットワークを介した情報の収集は大事です。最近、日本医療マネ

ジメント学会が名古屋で開催され、民間がやっている地域の住民の方々の情報の提供が有効に活用されているという話がありました。個人情報の問題、情報の管理の問題など気を付けないといけない。それらを踏まえて今後取り組んで行きたいと思います。

7. その他  
特になし